

授業科目	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ				単位	4		
履修	選択	関連資格	精神保健福祉士		ナンバリング	WE31311J		
開講年次	4年	開講時期	通年	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP2-1 DP2-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1 DP4-2 DP4-3 DP5-1 DP5-2			
担当教員	今村 浩司、高口 恵美							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本講では、精神保健福祉援助実習の意義について理解ができるよう、精神障害者のおかれている現状およびその生活の実態や生活上の困難について解説する。本学独自の実習生向けの実習指導マニュアルを使用し、集団指導及び個別指導を通して、精神保健福祉領域での相談援助の経験を有する実務家教員が、実習に必要な知識や技術の確認及び習得ができるように具体的な場面設定の中で、学生自身が考える授業を展開する。</p> <p>実習指導2では、障害者総合支援法に基づく施設や、精神保健福祉センター等の地域関機関を中心とした内容の実習指導を行う。また、より具体的現実性を高めるため、外部講師を招聘する予定である。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1、精神保健福祉援助実習の意義について理解し説明できる。</p> <p>2、精神障害者の置かれている現状及び、生活上の困難について理解し説明できる。</p> <p>3、精神保健福祉援助に係る知識と技術について、具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得する。</p> <p>4、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	0	0	80	100	
知識・理解 (DP1-1)			5				5	
知識・理解 (DP1-2)			5				5	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			5			5	10	
思考・判断 (DP2-2)			5			5	10	
関心・意欲 (DP3-1)						10	10	
関心・意欲 (DP3-2)						10	10	
態度 (DP4-1)						10	10	
態度 (DP4-2)						10	10	
態度 (DP4-3)						10	10	
技能・表現 (DP5-1)						10	10	
技能・表現 (DP5-2)						10	10	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1、精神保健福祉援助実習の意義や精神障害者の置かれている現状及び、生活上の困難について理解したうえで説明できる。 2、精神保健福祉援助に係る知識と技術について、具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得できて、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に、理解したうえで説明できる。				1、精神保健福祉援助実習の意義や精神障害者の置かれている現状及び、生活上の困難について説明できる。 2、精神保健福祉援助に係る知識と技術について、具体的かつ実践的に理解し実践的な技術等を体得できて、精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間	

				(分)
1	精神保健福祉援助実習と精神保健福祉援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
2	精神保健医療福祉の現状に関する基本的理解	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
3	利用者理解	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
4	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的理解(外部講師)	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
5	実際に実習を行う施設・機関・事業者・団体・地域社会等に関する基本的理解(外部講師)	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
6	実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
7	実習先で必要とされる精神保健福祉援助に係る専門的知識と技術に関する理解	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
8	精神保健福祉士に求められる職業倫理と法的責務に関する理解	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
9	実習における個人のプライバシー保護と守秘義務の理解(個人情報保護法の理解)	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
10	「実習日誌」への記録内容及び記録方法に関する理解	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
11	実習生、実習担当教員、実習先の指導者との三者協議を踏まえた実習計画の作成	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
12	巡回指導(訪問指導、スーパービジョン)	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
13	実習日誌や実習体験を踏まえた課題の整理	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
14	実習総括レポートの作成	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
15	実習の評価全体総括会	講義形式や集団指導、個別指導	課題を指示	30～60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	3年次の「精神保健福祉援助実習Ⅰ」、4年次の「精神保健福祉援助実習Ⅱ」を履修する学生のみが履修できます。			
テキスト	本学で作成した「精神保健福祉実習指導マニュアル」「実習日誌」等を使用して、授業を進めていきます。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じて、適宜紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	演習・実習の授業と関連しながら進めていきます。実習に向けての自主学習を含めて、関連科目の理解を深め、実習指導に臨んでください。			
達成度評価に関するコメント	授業貢献度 課題レポート・プレゼンテーションにて評価します。 その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導(ロールプレイ等)やグループワークの内容、積極性や参加意欲も併せて評価します。			